

発行所
石川県保険医協会
 〒920 金沢市尾張町1丁目9番11号
 尾張町レジデンス2F
 電話 (076) 222-5373 番
 FAX (076) 231-5156 番
 発行人 高松 弘明
 印刷所 ソノダ印刷株式会社
 購読料 1年間 5,000円(〒共)
 (*会員の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

2面 健保法附帯決議
 3面 健保法の流れと運動一覧
 4面 } 地元紙にみる運動の歩み
 5面 }
 6面 審査委員名簿
 8面 病院・有床診療交流集案内

今月の会員数 / 859人 (医科623人・歯科236人)

改定健康保険法説明会

開催のご案内

9月1日実施の健康保険法改定により、外来薬剤負担などの窓口事務が大変複雑になることが懸念されています。しかし、具体的な取り扱いについては厚生省内部でもまだ確定していない状況であり、協会には多くの会員から薬剤負担の計算や徴収方法などについて、疑問や質問が寄せられています。

また政府・厚生省は、8月末までに医療保険の抜本改革案をまとめる予定であり、第2弾、第3弾の医療保険改悪の動きも活発になります。

保険医協会では、9月実施の健康保険法改定への具体的な対応について説明会を開催し、併せて今後予定されている医療保険抜本改革の動きと問題点についても詳しく解説します。

会員・家族・医療従事者のご参加をお勧めします。

記

- と き 8月24日 (日) 午前10時～正午
- と ころ 金沢都ホテル 7階「鳳凰の間・東」
(JR金沢駅正面 076-261-2121)
- 講 師 保険医協会講師団
- テキスト 「健康保険法改定のポイント」(保団連発行)
- 参加費 1人無料、2人目から有料(テキスト代・未定)
- 参加対象 会員医療機関
- 申込み 下記まで医療機関名と人数をご連絡下さい。
(定員300人、先着順です)
- 主 催 **石川県保険医協会**

電話 076-222-5373
 FAX 076-231-5156

六月十六日、患者負担増を柱とした医療保険改革関連法案が可決・成立した。保険医協会では翌十七日の理事会で約一時間半の時間をとって、これまでの運動を振り返り、今後の運動の進め方を再検討する必要がある。

最初に今回の運動について振り返った。まず、法案の問題点を理事会で十分に討議して運動に取り組んだ意義は大きかった。国会請願署名は過去最多の六万二千余筆達成した。加えて街頭宣伝、新聞意見広告、健保一九番、国会議員要請、地方議会陳情、マスコミ対策など、多彩で精力的な運動を実施した。

また、社保協、老人クラブ、生協など種々の市民団体と連携して活動し、保団連・北信越ブロックとの共同行動でも協会の知名度を高めたことなど、大きな成果があった。

一方、結果として改悪案は成立した。これまでの運動を今一度反省し、今後の運動の進め方を再検討する必要がある。

多数の署名を集めながら、それを結果に反映できなかった政治の壁の厚さ、財源論や国民負担・薬剤費負担の不合理追求での力不足、会員参加率の低迷、医師会との協調などで大きな反省点があぶり出された。

しかも、政府・厚生省の医療構造改革案が今秋早々に迫っている。医療保険制度と医療提供体制の「抜本改革こそが本命なのだ。」協会としては引き続き、しかも早急に運動対策を立て直さなければならない。

このたびの「成果」を糧に「反省」を消化して、国民皆保険と健康権を守る良質の、そしてわれわれも納得できる医療の実現をめざして努力し続けよう、と、理事一同、決意を新たにしている。

▼三代大石博司編集長は、記事の文章づくりに留意した。形容詞の少ない文章ほど雄弁であることを示した。この時期に本紙編集の基盤が確立されたと言えよう。

▼四代柳下編集長は、スタッフに恵まれ、全国機関紙コンクールで優秀賞を狙おうと思うほどにレベルアップしたようだ。

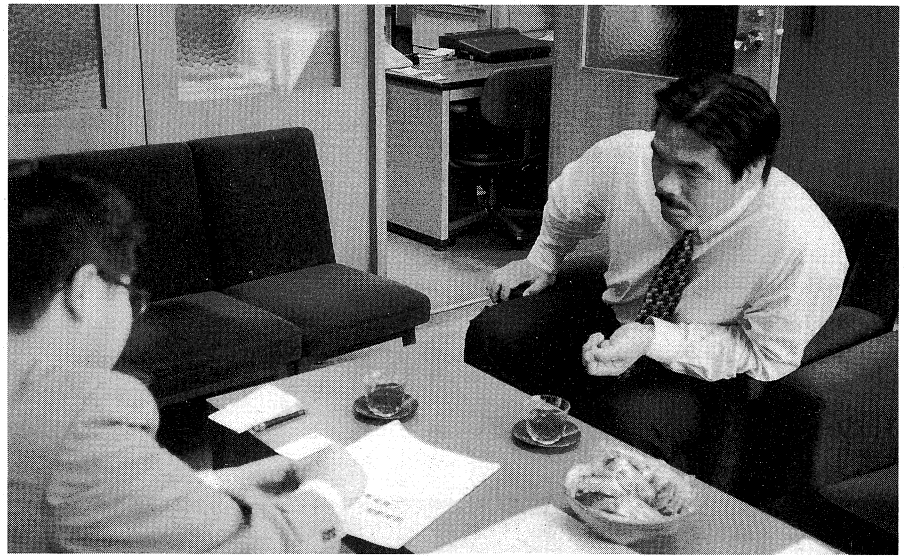
▼現在の編集長である五代小森貴編集長は、これまでの歩みを「足跡」と感じ取り、これからの一歩一歩を大切にしたいとしている。ますます充実した、読まれる、役立つ新聞づくりを期待する。

さて、四百号、五百号はどんな新聞になっているだろうか。

健保「改悪」法が成立

大幅な患者負担、9月実施へ

今後の運動対策で決意新たに



5回に及ぶ国会行動など多彩な運動を実施した
 <写真は6月5日の保団連国会行動で馳参院議員(右)に要請・懇談する神田事務局長>

患者負担増の主な内容

9月1日から実施

		改悪法	現行
健保本人		2割	1割
高齢者	外来	1回500円 (月4回上限)	月 1,020円
	入院	1997年度 1日 1,000円 1998年度 1日 1,100円 1999年度 1日 1,200円	1日 710円
外来薬剤費 上乗せ負担 (投薬ごとに)		内服薬 1種類 0円 2~3種類 1日 30円 4~5種類 1日 60円 6種類以上 1日 100円 外用薬 1種類 50円 2種類 100円 3種類以上 150円 頓服薬 1種類 10円	なし
6歳未満の乳幼児と住民税非課税世帯の老人福祉年金受給者は免除			

*服用時点と同じ薬剤の合計薬価が205円以下のものは1種類とカウントする。

医心凡語

本号が本紙三百一号である。先月の三百号に歴代編集長五人のコメントが掲載され、本紙の歴史を紐解くよう興味深かった。

▼初代高松弘明編集長は、生みの苦しみを味わったようだ。見出しが漢字ばかりの「戒名見出し」、このころはかなり減ってきている。この時期に、今でも欠かすことなく続いている毎月の編集会議が、すでに実施されていた。

▼二代木戸哲也編集長は、機関紙の顔とも言うべき「持論」と、スパイスであるコラム「医心凡語」を作った。読んで楽しく、会員参加の新聞づくりをモットーとし、それは今でも保険医新聞の基本として受け継がれている。

▼三代大石博司編集長は、記事の文章づくりに留意した。形容詞の少ない文章ほど雄弁であることを示した。この時期に本紙編集の基盤が確立されたと言えよう。

▼四代柳下編集長は、スタッフに恵まれ、全国機関紙コンクールで優秀賞を狙おうと思うほどにレベルアップしたようだ。

▼現在の編集長である五代小森貴編集長は、これまでの歩みを「足跡」と感じ取り、これからの一歩一歩を大切にしたいとしている。ますます充実した、読まれる、役立つ新聞づくりを期待する。

さて、四百号、五百号はどんな新聞になっているだろうか。

医療保険改革法案の国会通過が目前となり、理事会にはなんとなく諦めムードが漂っていた。

署名運動、記者会見や新聞広告などマスコミを利用した活動、街頭宣伝、「健康保険一九九番」の設置、国会議員への陳情など、あらゆる手段で法案阻止に努力した。やることはやったという満足感もあるのか、各理事の表情に悲壮感はやや感じられない。そのような雰囲気では理事会は始まった。

第5回理事会

“秋の陣”に向け 決意新たに

(6月3日・11人出席)

当番議長からの話題提供では、衆議院予算委員会発言録が示され、新井将敬議員の「一部の医療

6月度理事会会点描

十カ月に及ぶ医療保険改悪反対闘争にかかわらず、六月十六日、国会で患者負担増を柱とする法案が成立した。このため十七日の理事会はこの間の協会活動の成果と反省を検討するための理事座談会の同時開催となった。

第6回理事会

健保改定の 説明会を企画

(6月17日・12人出席)

まず報告事項では、会員数に異動はなく、障害者の歯科診療応需の申し出機関が六件あったこと、レセコンに関するアンケートに二百二十六人の回答があり、七月にその報告書ができること、病院マップのアンケート回収状況、施設見学会の企画などが

レセコンアンケート

ご協力ありがとうございました。

本年は、四月に消費税率改定に伴う診療報酬および薬価の改定、さらに九月には健康保険法改悪に伴う一部負担金の変更および薬剤費の徴収などが開始され、医療事務担当者のご苦労はいかばかりかお察し致します。

そのような時期に保険医協会が実施しましたレセプトアンケートに、二百二十一人(医科百九十七人、歯科二十九人)もの会員の方から回答をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

現在、回答の内容を、鋭意集計・分析中です。今回は、前回のアンケートの調査項目である、メーカー別シェア、レセコン本体の価格、メンテナンス料金のほかに、レセプトA4判化に伴う、医療機関とレセコンメーカーの対応、マルチメディア時代の到来に伴うコンピュータの多面的な利用に対する考え方などの項目が、ぜひ、ご出席のほどお願いいたします。

レセコンに関するアンケートが、ほぼひとりで集計した冊子を近日中にお送りします。ご意見をお寄せいただければ幸いです。

参考資料

健康保険法等の一部を改正する法律案に対する付帯決議

(参議院厚生委員会)

六月十二日の参議院厚生委員会では、薬剤負担について再修正案を可決したが、併せて附帯決議を採択した。本決議は共産党を除く各党派の共同提案により出されたもので、今後の抜本改革論議にも影響を与えることになると思われる。

政府は、次の事項について、適切な措置を講ずべきである。

- 一、医療提供体制と医療保険制度の両面にわたる抜本的構造改革について、スケジュールを含めた全体像を速やかに国民に示すとともに、その早急な実現を目指し、できる限り平成十年度から着手すること。
- 二、政府管掌保険に係る国庫補助の繰入特例措置及びその利子については、国及び政府管掌健康保険の財政状況を勘案しつつ、できる限り速やかな繰戻しに務めること。
- 三、薬剤負担については、薬剤費を限度とする等その算定方法について適切な措置を講ずること。
- 四、被用者保険の保険料負担について、賞与等を含めた年間の総報酬に保険料を賦課する方式への移行の検討を進めること。
- 五、老人医療制度について、できるだけ早期に新たな制度の創設も含めた抜本的見直しを行うこと。なお、低所得者への十分な配慮を行うこと。
- 六、就学前児童の一部負担について、少子化対策の観点及び地方公共団体における単独事業の実状も踏まえ、その軽減を検討すること。
- 七、現行の出来高払い中心の診療報酬制度を見直し、慢性期医療等に対する包括払いの活用など、出来高払いと包括払いの最善の組み合わせを図ること。
- 八、高薬価シフトを防止し、薬価差の解消を図るため、現行の薬価基準制度に代わる市場取引に委ねる原則にたつた新たな方式の採用を含め、薬価基準制度を抜本的に見直すこと。
- 九、医薬分業の推進のため、今後とも所要の措置をとること。あわせて薬剤師教育の充実を図ること。
- 十、医療提供体制の適切な機能分担が行われるよう、「かかりつけ医」機能の充実など、体制を整備すること。また、そのための医学教育について検討すること。
- 十一、医療における情報公開を進め、患者の立場や選択を尊重した医療情報の提供の在り方について、さらに検討を加え、必要な措置を講ずること。また、薬価算定の透明化を図り、診療報酬や薬価を決める中央社会保険医療協議会の審議を公開すること。
- 十二、医療保険制度運営の安定化を図る観点から、国民健康保険、政府管掌健康保険、組合健康保険等における保険集団の在り方を見直すとともに、給付と負担の公平化に向けた取り組みを進めること。
- 十三、医療費の不正請求を防止するため、審査及び指導監査の充実等医療費の適正化を図るための対策を強化すること。
- 十四、この法律の施行後、施行の状況を勘案し、その全般について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずること。

医療保険制度改革の動きと石川協会の活動記録

〔医療保険制度改革の動き〕

《1996年》

- 6月21日 医療保険審議会、72項目からなる「第2次報告」発表
- 7月31日 医療保険審議会、「主な施策メニュー」38項目を発表
- 10月20日 衆議院選挙投票日
- 11月27日 医療保険審議会、医療保険改革の建議書を提出
- 12月19日 医療保険改革政府案まとまる

《1997年》

- 1月10日 医療保険審議会に政府案が諮問
- 1月27日 医療保険審議会が政府案を原案どおり答申
- 2月10日 第140回通常国会に政府案が上程される
- 3月5日 97年度予算案が無修正で衆院通過
- 3月14日～3月末 与党が医療改革に関する地方公聴会を3回開催
- 4月7日 与党医療保険制度改革協議会が「医療保険改革の基本方針」を発表
- 4月8日 衆院本会議で法案趣旨説明
- 4月15日 与党医療改革協と民主党が修正協議を開始
- 4月22日 衆院厚生委員会で参考人質疑
- 5月6日 与党政策責任者・医療改革協が修正案で合意
- 5月7日 修正案が衆院厚生委員会で採択
(与党・21世紀が賛成、新進・民主・共産が反対)
- 5月8日 衆院本会議で採択、参議院に回付
- 5月23日 参院本会議で法案趣旨説明
- 6月6日 参院厚生委員会の中央公聴会開催
- 6月9日 参院自民党と平成会(新進・公明)が法案の採決を合意
- 6月12日 参院厚生委員会で再度修正のうえ採択
(与党・太陽が賛成、平成・民主・共産が反対)
- 6月13日 参院本会議で採択、衆議院に回付
- 6月16日 参院本会議で可決成立
- 9月1日 改定健康保険法が施行

〔石川協会の活動記録〕

《1996年》

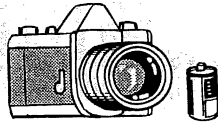
- 6月30日 石川県社会保障推進協議会再建総会
(石川協会はオブザーバー参加)
- 9月15日 石川保険医新聞9月号に高松会長談話を掲載、秋の運動月間をスタート
- 10月 参議院石川県選挙区に候補者を擁立した各政党に医療政策アンケート(自民・社民・新進・共産が回答)
- 11月9日・10日 保団連北信越ブロック保険医討論集会
(長野駅前で白衣の街頭宣伝も)
- 11月 厚生大臣への要請書運動
- 11月～12月 第1次署名活動(37,643筆)
- 12月1日 保団連全国保険医総決起大会に石川協会より6人参加、7地区医師会が賛同
- 12月12日 保団連国会行動に神田事務局長、杉野事務局長が参加
(桑原衆院議員に要請懇談)

《1997年》

- 1月17日 県社保協役員会との懇談会
- 2月10日 法案の国会上程にあたり、高松会長が亀山県社保協会長と共同記者会見
- 2月 政府案にもとづく窓口負担の実状調査
- 2月19日 石川生活協同組合「まど」編集室が医療保険改革で、高松会長にインタビュー
- 2月27日 保団連国会行動に杉野事務局長が参加(国会前に座り込み)
- 3月 地方議会に地区医師会長等と連名で陳情
(12地方議会が意見書を採択)
- 3月20日 医療保険「改革」を考える県民の集い
(高松会長が司会、安藤副会長が報告者)
- 4月8日 県社保協役員会と2回目の懇談
- 4月12日・13日 第30回保団連北信越ブロック会議
(富山市内で白衣の街頭宣伝も)
- 4月～5月 第2次署名活動(24,528筆)
- 4月24日 保団連国会行動に杉野事務局長が参加
(桑原衆院議員に要請懇談)
- 4月25日 北陸中日新聞に意見広告を掲載
(賛同募金が会員85人から565,000円)
- 4月26日 協会初の白衣の街頭宣伝、24人参加
- 5月7日 衆議院厚生委員会の採択にあたり、高松会長談話を発表
- 5月8日 保団連国会行動に神田事務局長が参加
(一川・桑原両衆院議員に要請懇談)
- 5月11日 2度目の白衣の街頭宣伝、25人参加
- 5月20日 石川県生活学校連絡会総会で安藤副会長が記念講演「高齢者の医療と福祉」
- 5月27日 与党の修正案を了承した日医執行部に抗議文を送付
- 5月29日・30日 「健康保険119番」を臨時開設
(電話25件、FAX201件届く)
- 6月5日 保団連国会行動に神田事務局長が参加
(馳参院議員に要請懇談)
- 6月5日 社民党参院議員に慎重審議のFAX要請
- 6月7日 県社保協のマラソン街頭宣伝に協力
- 6月12日 参院厚生委員会の採択にあたり、高松会長談話を発表
- 6月17日 理事座談会「健保闘争を振り返って」
(保険医新聞8月号に全容を掲載する)
- 6月21日 県社保協第2回総会で高松会長が来賓あいさつ
- 8月24日 改定健康保険法説明会を開催

健康保険法改正反対
街頭でキャンペーン

県内の医師や歯科医師ら
で構成する県保険医協会
(高松弘明会長)は二十六
日、金沢市香林坊で、国会



で審議中の健康保険法改正
案に反対する街頭キャンペ
ーンを行った。

改正案では、本人負担を
二割に引き上げることな
ど、被保険者の負担増が盛
り込まれている。キャンペ
ーンでは白衣姿の医師ら二
十三人が、チラシを配りな
がら反対の署名を呼びかけ
たほか、掲示板の賛成か反
対の欄に、買い物客らが赤
いシールを張って賛否を示
す、県民投票も実施。
次々と反対の欄にシールが
張られた。

同協会は昨年から署名
運動を始め、これまでに約
四万一千人の署名が集まっ
た。この日は一時間ほどの
間に百三十一人分の署名が
集まった。県民投票では賛
成二に対して反対百五十一
と圧倒的に反対が多かつ
た。
街頭キャンペーンは来月
十一日にも行う予定。

白衣姿で健康保険
法改正反対訴え

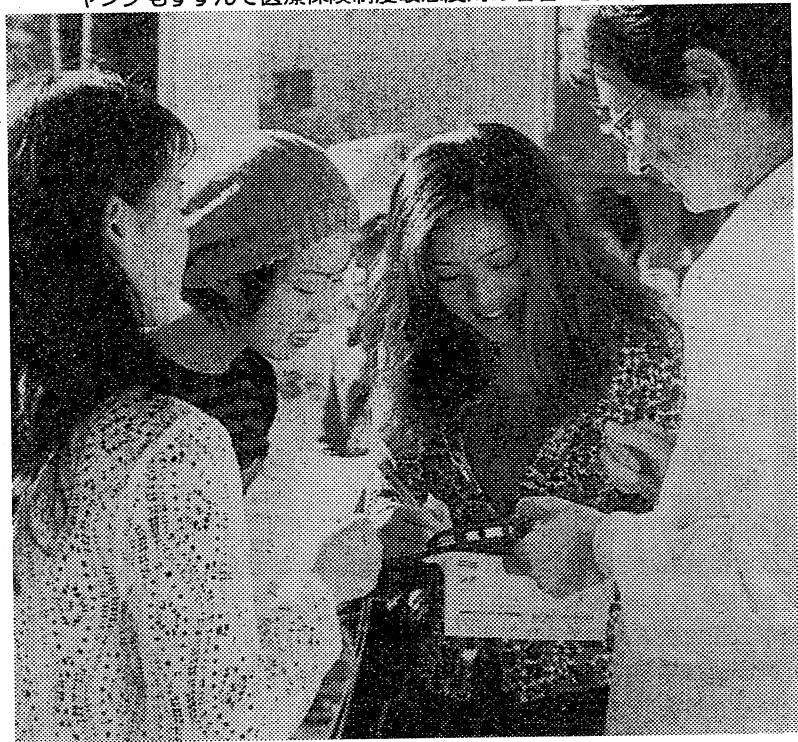
金沢で県保険医協

石川県保険医協会は二十
六日、金沢市の香林坊ア
リオ前で健康保険法改正
案の採決反対を訴えた。

街頭には、白衣姿の医師
や歯科医ら二十三人が並
び、行き交う人に「患者の
負担増だけが前面に出た改
正案は、医療を受ける権利
を阻害するもので、撤回す
べきだ」と訴え、反対署名
を求めた。約一時間の呼び
掛けで約百三十人分の署名
が集まった。改正案につい
ての賛否を問う投票も併せ
て行われた。
県保険医協会では、医療
機関の窓口でも反対署名を
呼び掛けている。集められ
た署名は国会へ提出され
る。

医療保険改悪 早期治療阻害する

ヤングもすすんで医療保険制度改悪反対の署名=26日、金沢市



お医者さんも怒ったぞ

石川保険医協会が初の街頭署名

石川県保険医協会(高松弘
明会長、会員数八百五十五人
は二十六日午後四時から一時
間、金沢市香林坊のデパート
前で医療保険制度改悪に反対
して街頭宣伝・署名行動をし
ました。石川県保険医協会が
街頭に出て宣伝・署名行動を
したのは初めてです。
白衣姿で、高松会長ら同協
会の医師と石川民連の医師
約二十人が医療保険制度改悪
に反対する署名をよびかけま
した。この宣伝・署名行動に
は、日本糖尿病協会石川県支
部の人たちも加わりました。
高松会長らはハンドマイク
で「早期発見・早期治療を阻
害する患者負担増は撤回を」
と訴えました。また、健康保
険法「改正」案の修正にも応
じず廃案を強く主張しまし
た。
街頭では、医療保険制度改
正「案」の賛否を問う県民投票
もおこなわれました。

医療保険制度
改正案に抗議

金沢の医師ら

医療費の患者負担を引き
上げる医療保険制度の改正
案が八日に衆議院を通過し
たことに抗議するため、県
保険医協会(高松弘明会
長)の医師ら二十四人が十
一日、金沢市香林坊で患者
負担の大幅拡大の中止を求
める請願署名を呼びかけ、
約二百七十人が署名した。
高松会長は「医療費の自
己負担が増えれば、受診を
控える患者が多くなる。早
く治るはずの病気の治癒が
遅くなり、入院患者が増え
ることにもつながる。改正
案は国民の健康にとって悪
循環となる」と話す。

会長名の談話発表

健康保険法改正案

で県保険医協会

県保険医協会は十二日、
健康保険法の改正案が、参
議院厚生委員会が衆議院修
正案を再修正して可決、本
会議へ送られたことに関連
し、高松弘明会長名の談話
を発表、県選出国会議員あ
てにファクス送信し、慎重
な審議を求めた。
談話では、「薬剤の二重
負担」の矛盾は解決してお
らず、より複雑化している
窓口の混乱が避けられない
と指摘。健康保険の本人二
割負担や、高齢者の負担増
も手つかずで「患者さんに
負担増を強いるのは、容認
できない」として、徹底し

知ってがくぜんやめてほしい

石川県保険医協会が「119番」

患者負担増

患者負担を大幅に増やす医
療保険制度改悪に反対し、参
院段階で法案の廃案をめざし
て奮闘している石川県保険医
協会(高松弘明会長、会員八
百五十六人)が全国の保険医
協会にさきかけて二十九日、
三十日の二日間、県民の声を
国会に届けよと「健康保険
一一九番」を設置したところ、
「お金がないと医者にかかれ
なくなる」「早くあの世へい
けどいつのか」「国民の負担

自治体にほんとうに腹がた
つ」と語り、「改正」の内
容を聞いてがくぜんとした。
やっとなんとのことをするの
だろ。高い保険料を払わさ
れ、いざ病気になるたら倍以
上の自己負担、おまけに消費
税はあがるし、政治家たちは
なにを考えているのじゃう
か」という六十歳の女性も。
「自然破壊や田畑をつぶし
ての道路はもういらなにか
ら、健康保険法を真に改正し
て医療費を無料に」や「各議

国民負担増の改正案
『到底容認できない』

県保険医協会が談話

七日の衆議院厚生委員会
で、健康保険法改正案が与
野三党の修正案を含めて可
決されたのを受け、県保険
医協会は高松弘明会長の談
話を発表した。
談話では、改正案は「国
民に二兆円もの負担増をし
る」もので「到底容認で
きない」として、参議院での
徹底した国会審議などを要

廃案求め運動継続

石川県保険医協

石川県保険医協会は七
日、衆議院厚生委員会が健
康保険法改正案が可決され
たことに対し「改正案は、
政府案より悪化している。
参議院での徹底した審議や
公聴会の開催など要求し、
廃案を求めて引き続き運動
を進める」とする高松弘明
会長名の談話を発表した。

にみる 運動の歩み

患者負担を大幅に増やす医
療保険制度改悪に反対し、参
院段階で法案の廃案をめざし
て奮闘している石川県保険医
協会(高松弘明会長、会員八
百五十六人)が全国の保険医
協会にさきかけて二十九日、
三十日の二日間、県民の声を
国会に届けよと「健康保険
一一九番」を設置したところ、
「お金がないと医者にかかれ
なくなる」「早くあの世へい
けどいつのか」「国民の負担



相ついで石川県保険医協会の
金沢市

地元新聞 健康保険119番 反対 改悪 健康保険

'97.5.28 北陸中日新聞

「健康保険119番」 あすと30日開設

県保険医協会

健康保険法改正、介護保険法に反対している県保険医協会（高松弘明会長）は二十九、三十の両日、健康保険法の改正への疑問や意見などを受け付ける「健康保険119番」を開設する。

健康保険改悪の影響などを実際につかむとともに、両法案の参議院での慎重審議を訴え、廃案を目指すための取り組み。県民の声として、集まった意見は県選出の参議院議員などに届ける。

両日とも時間は午前十時～午後五時。金沢市尾張町の同協会事務局で協会役員や事務局員が対応、ファクスでも受け付ける。電話番号は0762(22)5373、ファクスは0762(31)51506。

'97.5.30 北陸中日新聞

さまざまな疑問や注文が寄せられた「健康保険119番」＝金沢市尾張町で



'97.5.29 北國新聞

きょう、あす健康保険119番開設

県保険医協会

石川県保険医協会は参院で審議中の健康保険法等改正案に対する県民の意見を聞くため、「健康保険119番」を二十九、三十日に設ける。患者負担増を柱とする改正案に対する疑問や不安を集めて参院厚生委員や県選出参議院議員に届け、廃案を求める。開設時間は午前十時から午後五時まで。電話は0762(22)5373。

'97.6.4 北國新聞

医療保険制度の抜本改革

言葉の裏に新たな負担増

社会保障費の自然増分八千億円のうち千億円を「抜本改革」という言葉の裏に盛り込まれた。三日の財政構造改革会議最終報告。医療保険制度の抜本改革は、国民への新たな負担増ばかりが目につく。

現在、国について相談を受け付けるの会で審議中。寄せられた意見の健康保険は同協会が集約。県選出の法改正案と参議院議員に届け、両法案の参議院での廃案を訴える。

「健康保険119番」が二十九日始まり、初日は電話、ファクス合わせて計四十二件の意見や苦情が寄せられた。内訳は電話が十三件、ファクスが二十九件で、「国は年寄りに早くあの世へ行け」というのか」と強い口調で訴える男性など、改正後の負担増に対する不安や怒りがほとんど。「改悪反対に頑張りたい」との激励の電話やファクスも多かったという。

不安や怒り 初日42件

健康保険119番始まる

県保険医協会

同協会が審議中の法案に



医療保険改悪に怒りの声か「健康保険119番」＝29日。

員の態度を記したものを永久保存版にして発表してください。次期選挙の参考にしたい」という意見も寄せられています。同協会は六月五日には五回目の国会要請行動を計画しており、同日には石川県社会保険推進協会のマラソン宣伝に協力します。



北國新聞・北陸中日新聞・しんぶん赤旗より転載しました。(編集部)

'97.4.25 北陸中日新聞

「一面に本記」石川県保険医協会は五月二十九日から二日間、通院する患者らに健康保険法改正案についての意見を求めた。送られたファクスや電話は二百二十件を超えた。「時々不整脈もあり、医者とは離れたくない毎日です。将来を不安にさせるようなことはしないでほしい」といってせんそくが持病の男性(三〇)。糖尿病患者は「今でも一回病院に行くのに、四千五百円かかるの、どうなるのか。やり場のない怒りを感じる」。また「田畑を踏みつぶす道路なんてもういらぬ」と公共事業へのほろほろ行政批判も。どれも切実な思いや不安、怒りがつづっていた。

国民負担をこれ以上ふやす、健康保険法改正案にはわれわれ医師もぜつたい反対です。

石川県保険医協会

〒920 金沢市尾張町1丁目9番11号 0762-22-5373 Fax0762-31-5156

石川県保険医協会は県民とともに医療の改善をめざす内科、歯科保険医855人の団体です。この意見広告についてのご意見をお寄せください。

た審議を要求、審議未了・廃案を求めるとしている。

石川県 社保 国保 審査委員名簿

(任期：1997年6月1日～1999年5月31日)

《支払基金審査委員》

代表別	診療科	氏名	職名
診療担当者	内科	洞庭 賢一	開業医
	内科	西田 守治	開業医 県医師会理事
	内科	西村 功	開業医 金沢市医師会副会長
	内科	能登 康夫	開業医 県医師会理事
	内科	小川 純	半田内科医院副院長
	内科	魚谷 浩平	開業医 金沢市医師会理事
	内科	紺谷 一浩	開業医 河北郡医師会理事
	外科	橋本 之方	加賀温泉病院長
	外科	松村 晴夫	開業医 金沢市医師会監事
	小児	横井 衛	開業医 県医師会理事
	整外	川北 篤	開業医 県医師会理事
	整外	加藤日出治	開業医
	産婦	紺谷 昭哉	開業医 日母石川県支部常任理事
	精神	渋谷 禎三	十全病院長
	眼科	藤沢 昭三	開業医
	耳鼻	福田 学	開業医
	皮膚	三木 甫	開業医
	歯科	白尾 理英	開業医 県歯科医師会理事
	歯科	加藤 寿	開業医 県歯科医師会代議員
	歯科	三津野公夫	開業医 県歯科医師会連盟常任理事
保険者	内科	篠崎 公秀	北陸病院内科部長
	内科	早川 浩之	津幡町国民健康保険直営 河北中央病院長
	内科	新谷 博之	小松製作所栗津工場健康管理室長
	内科	安部 俊男	金沢市立病院内科科長
	外科	木下 睦之	石川県厚生部保険課指導医療官
	外科	池田 清延	国立金沢病院脳神経外科医長
	外科	矢崎 敏夫	開業医 県医師会常任理事
	外科	松原 純一	金沢医科大学医学部助教授
	外科	高橋 一郎	国民健康保険小松市民病院副院長
	整外	林 信治	社会保険鳴和総合病院副院長
	整外	山田 浩	石川県リハビリテーションセンター所長
	産婦	赤祖父一知	社会保険鳴和総合病院長
	小児	奥田 則彦	国立金沢病院小児科医長
	小児	小林 泰	老人保健施設千代野苑施設長
	精神	中村 一郎	石川県立高松病院長
	耳鼻	徳田紀九夫	石川県立中央病院診療部長
	眼科	中川 寛忠	開業医
	歯科	長田 稔	石川県厚生部保険課指導医療官
	歯科	新本 俊彰	開業医
	歯科	野口 真	開業医
学識経験者	内科	杉岡 五郎	基金専任審査員
	内科	石川 勲	金沢医科大学医学部教授
	内科	横山 仁	金沢大学医学部附属病院助教授
	内科	大家他喜雄	石川県立中央病院長
	内科	織田 邦夫	基金専任審査員
	内科	立野 育郎	基金専任審査員
	内科	河合 昂三	公立松任石川中央病院長
	内科	小泉 順二	金沢大学医学部助教授
	小児	小泉 晶一	金沢大学医学部教授
	外科	三輪 晃一	金沢大学医学部助教授
	外科	能登 佐	基金専任審査員
	産婦	桑原 惣隆	金沢医科大学教授
	整外	東田 紀彦	金沢医科大学教授
	泌尿	打林 忠雄	金沢大学医学部助教授
	皮膚	川島 愛雄	石川県立中央病院診療部長
	眼科	瀬川 安則	金沢大学医学部附属病院講師
	耳鼻	三輪 高喜	金沢大学医学部助教授
	歯科	溝口 寛	開業医 県歯科医師会副会長
	歯科	中川 忠夫	基金専任審査員
	歯科	宮本 清光	開業医

《国保連合会審査委員》

代表別	診療科	氏名	職名
国保医・薬剤師代表	内科	池田 清司	池田内科クリニック院長
	内科	津田 功雄	津田内科医院長
	内科	二宮 哲博	二宮内科医院長
	内科	林 清次	林内科医院長
	内科	前川 信政	前川医院長
	小児	佐藤 純	佐藤小児科医院長
	外科	大和 一夫	大和外科種村耳鼻咽喉科医院長
	外科	横浜 外雄	横浜外科医院長
	整外	勝木 道夫	整形外科芦城病院長
	整外	細川外喜男	細川整形外科医院長
	耳鼻	中橋 常雄	中橋耳鼻咽喉科医院長
	産婦	荒木 克巳	恵愛病院長
	歯科	東 伸也	東歯科医院長
	歯科	伊川 永一	伊川歯科医院長
	薬局	綿谷 小作	綿谷小作薬局長
保険者代表	内科	梅田 明	石川県国保連合会嘱託医(梅田医院長)
	内科	長田 清明	金沢赤十字病院第一内科部長
	内科	加登 康洋	石川県医師国保組合(加登病院長)
	内科	沢田 大成	金沢市泉野福祉保健センター医師
	内科	谷内 荘成	公立羽咋病院長
	内科	吉光 康平	県医師国保組合(吉光内科医院長)
	小児	加藤 真人	公立松任石川中央病院 小児科医長
	外科	素谷 宏	公立鶴来総合病院長
	整外	島 巖	石川県立中央病院診療部長
	耳鼻	岡部 陽三	N T T 金沢病院耳鼻咽喉科部長
	皮膚	西部 武嗣	県医師国保組合(本多町皮膚科クリニック)
	眼科	山崎 芳治	石川県医師国保組合(山崎眼科医院長)
	産婦	山田 光興	金沢市立病院産婦人科医長
	歯科	小竹 秀夫	全国歯科医師国保支部(小竹歯科医院長)
	歯科	白石 貴城	全国歯科医師国保支部(白石歯科医院長)
公益代表	内科	西野 知一	国家公務員共済組合連合会 北陸病院顧問
	内科	木田 寛	国立金沢病院第一内科医長
	内科	熊野 豊彦	石川県厚生援護課医療指導専門員
	内科	東福 要平	石川県済生会金沢病院長
	内科	中村 忍	金沢大学医学部第3内科助教授
	内科	松井 忍	金沢医科大学循環器内科教授
	精神	島田昭三郎	常盤園長
	外科	川筋 道雄	金大医学部附属病院 第一外科助教授
	脳外	長谷川光広	金大医学部附属病院 脳神経外科講師
	泌尿	勝見 哲郎	国立金沢病院 泌尿器科医長
	眼科	北川 和子	金沢医科大学病院 眼科助教授
	眼科	柳田 隆	国立金沢病院 眼科医長
	皮膚	柳原 誠	金沢医科大学病院 皮膚科教授
	歯科	向田 能和	石川県歯科医師会理事
	歯科	東山 一博	石川県歯科医師会(松任・石川支部副支部長)

黄色いハガキ運動 ただ今、推進中

黄色いハガキは毎月保険医新聞に同封しています。ご利用ください。

石川県保険医協会

投稿

公僕精神について考える

山森 富雄 (金沢市70歳)

本稿は、三月二十日に保険医協会および社会保険推進協議会の共催で開催した「医療保険「改革」を考える県民の集い」において、高齢者代表のハネテラとして出席された山森氏にご投稿いただいたものです。山森氏は、某地方紙の常連投稿者としても知られていますが、本稿は掲載されませんでした。山森氏は、地元報道機関が県政や市政などを批判する読者の声を採用しない傾向にあることに憂いをもたれ、本紙に投稿されたものです。

私は、報道機関が地元の議会議員の間から「鹿児島県政や市政などを批判する読者の声を採用しない傾向にあることを真に残念に思っている。例えば、石川県の新庁舎の建設についてである。県新庁舎が「広すぎる」こと

と説明している。しかし、国家公務員は毎年、定員が削減されており、しかも現在、国の行財政改革で橋本神とは、税金で雇用されて

公務員を大幅に削減すべきであると言われている。石川県においても国のこの方針に従うのは当然であることから、むしろ減員を考慮したものでなくてはならない。また、「ぜいたく」であることについては、現在、国が財政改革を実施中であることと地方における財政事情も赤字であること、さらに県民の税金六百億円を

囲碁解答
白5は3の所、黒6は1の所
(問題は8面にあります)

11年間(1978年~1989年)にわたり会長を務められ、協会の発展に寄与された後藤田博之名誉会長より、理事会および当編集部にごあいさつを寄せられました。本紙に掲載させていただきますとともに、今後もご健勝にてご活躍されますことを心より祈念いたします。(理事・編集部一同)

ごあいさつ

私、1938年に旧制徳島中学校を卒業し、徳島から大阪まで船で約8時間、大阪から北陸線の蒸気機関車に乗り、約8時間で金沢に到着しました。

以来、1944年まで薬学専門部、金沢医科大学と金沢で学生生活し、卒業後終戦まで四国で軍務に服しましたが、その後、約20年間は医科大、金大医学部の教官を勤め、その後約20年間、ごただ病院を開設して地域医療のため、働きました。また、その間、医師会の仕事もしましたが、日医の動きにも満足できない状態の時期に、全国保険医団体連合会、石川県保険医協会の存在を知り、直ちに入会し、石川協会では、二代目の会長に、また、保団連会長から北信越ブロックからの保団連常任幹事の推薦を受け、約10年間その任を務めました。そのころから体力の衰えを感じて、病院は閉鎖し、保団連、保険医協会の仕事も辞退させていただきました。

病院閉鎖後、石川県赤十字血液センターから献血時の検診医としての依頼を受け、本年3月まで働きました。

これで医師として金沢で働くのはすべて終わりとして、これからは一老人として熱海で生活することにしました。

長い間皆様方のご援助に厚くお礼申し上げます。最後にこれからも保団連、協会の発展を期待しています。

伊豆、箱根方面においでの際は、ぜひ熱海にお立ち寄りください。お待ちしております。

1997年7月

後藤田 博之

新住所 〒413 熱海市伊豆山760-2 中銀ライフケア第2伊豆山 916号
電話 0557(80)2125/フロント 0557(80)2626

現在、わが国の政治には根本的な改革を要するものが数多くあるが、それを行わずに安易に国民に負担を強いっている。石川県も将来の超高齢者社会を見越しての政策が数多くあることを念頭に政治を行ってほしいと願って止まない。
なお、池田健県議会議長は六月二十四日、新県庁舎の議会棟問題について、エントランスホールを五階建てから四階建てへの圧縮などを明記した議長案を各界派に提案し、意見の集約を要請した。また、この中で大会議室案は、従来どおり本会議場で開くことにより必要のないことが盛り込まれている。
華美な内容より、むしろ機能性重視を指摘されており、この提案によって行政・警察両棟の論議も一気に進むものと予想される。
以上の概要を記した私の投稿は五月二十二日に行ったが、ついに新聞紙上で見ることができなかつたことを残念に思っている。



枯れ葉剤の影響か? 奇形児の多発

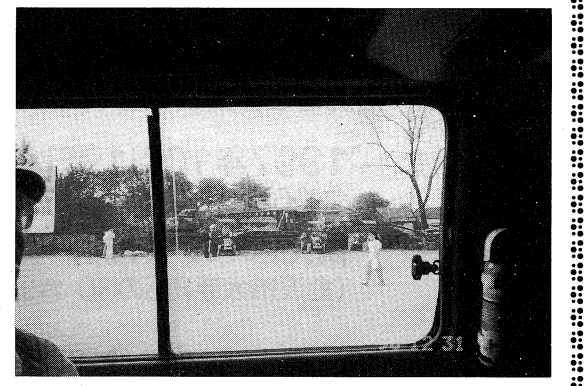
服部真ドクターのベトナム訪問記 (10回シリーズ)

ベトナムの光と陰 *第2話*
ベトナムの陰
カレハザイとワイロラッシュ

カンボジアのポルポト軍は、サイゴン解放の一週間前に、ベトナム軍の支援を受けてフロンペンに制圧したが、その後ベトナムに反旗を翻し、戦闘は一九八九年まで続いた。長年にわたる戦時体制と三百万人を超える戦死者、国土に撒かれた大砲や爆弾(第二次世界大戦の爆弾総量をはるかに超える)と枯れ葉剤の雨は、終戦後もベトナムの人々と社会に深刻な障害を残した。「自由と独立のために」負しさを分かち合う社会からの脱皮を目指したトイモイは、一方で、都市と農村の経済格差や貧富の差、公

務員の給料では生活できないインフレや賄賂の蔓延(日本の高級官僚・財界・政治家という社会支配の構造的な賄賂ではなく、公共システムの不備に原因がありそう)を急速に拡大した。今回の訪越の主目的は、ベトナムの陰が集中した部分である中部高原の枯れ葉剤散布地域(極貧地域)の障害児を診察し、実態を把握することにあった。

下腹部から下が結合して生まれた「ベトちゃん・ドフちゃん」の発達を願う会(代表、藤本滋賀大学教育学部教授)が、ホーチミン市のトゥツ病院に医療機器などの支援をするのに合わせて、昨年からは、南の戦闘に参加した旧北ベトナム軍兵士の子供の障害児を調査し、今回は、二回目である。



道路わきの旧南ベトナム軍戦車

築こう、貴方の病・医院の将来を

第15回「保団連病院・有床診療所問題交流集会」参加のお誘い

1997年8月30日(土)～31日(日)：東京・三省堂新宿ビル

病院、有床診療所が将来展望を得るためには、厚生省の入院医療政策をしっかりと捉え、どう立ち向かうかを明らかにすることが必要です。

一方、近年「届出が必要な医療」が急増しており、現在、看護を除いて60項目近くあります。届出医療の内容をしっかりと把握することは、病院・有床診療所の経営にとって重要です。しかし、意識して様々な要件を整えなければ届出が出来ず、また届け出た後も、要件を整え続けなければなりません。保団連では、届出医療の留意点についてわかりやすく解説した冊子の作成をしています。

「病院・有床診療所問題交流集会」は、政府・厚生省の入院医療政策を再検証するとともに、それぞれの医療機関が将来展望を持てることを目指して企画しました。ぜひご参加下さい。

8月30日(土) 18:00～21:00

- 1、「届出医療の留意点と活用」(仮称) 学習会
参加者には冊子を無料配布致します。
- 2、基調提案「入院医療施設をめぐる情勢の特徴と対策」(仮称)

8月31日(日) 10:00～16:00

午前	分科会(病院分科会・有床診療所分科会) 厳しい医療情勢の中で、特徴ある医療を推進しているいくつかの医療機関から、経験や優位性、問題点などについて報告頂き、参加医療機関が今後の病院運営に生かせるよう交流を深めます。
午後	1、分科会からの報告 2、記念講演 佐野正人氏(日本経済新聞編集委員) 最近注目を浴びている日本経済新聞の佐野正人編集委員が、政府の財政構造改革とのからみで、医療・福祉改革路線の狙いと問題点についてわかりやすく解説をします。 3、交流集会のまとめ

参加費・申し込み方法

参加費	医師・従業員とも 両日参加1万円(1日のみ参加5千円) 但し、同一医療機関の2人目からは、一人につき 両日参加5千円(1日のみ参加3千円)
会場	両日とも 東京・三省堂新宿ビル 〒160 東京都新宿区西新宿4-15-3
宿泊	30日(土)：希望者のみ 新宿ニューシティホテル(シングル9,450円 ツイン15,750円) 〒160 東京都新宿区西新宿4-31-1

参加申し込みは、8月8日(金)までに石川県保険医協会までお申し出下さい。その際、宿泊の要・不要をお申し出下さい。30日(土)の夕食と31日(日)の朝食は各自でお願い致します。

サイコロジカル・ショート・ショート

マインドコントロール編(その25)

景品

(ザッツ・ナット・オール・テクニク)

大石ひろし

「先生、この薬を買っていただければ、ゴルフバックを付けますよ」

この言葉を聞いた時、信一は顔を逆なでされたような不快さでいっぱいになった。

(勤務医とはいえ、患者さんの症状に合わせて、より早い回復を目指して処方するのが医者の方だ。

遊びくらいは自分の金でやる)

「馬鹿にするな！」

この一喝以来三十年、信一はそのプロパーとは会っていない。

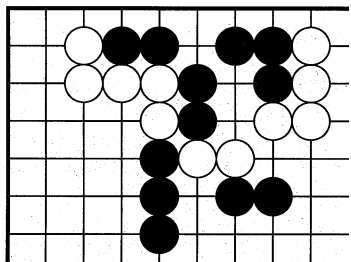
特典付加により、相手に買う気を起こさせるといふこの方法は、「ザッツ・ナット・オール・テクニク」と呼ばれている。「それだけじゃないよ」というのであろうか。しかし、程度が過ぎると相手のプライドを傷つけてしまうこともある。

これは譲歩的依頼法の場合は、わざと大きい要求を出して、最初に受け手にそれを拒否されるのに、この「特典付加法」は、受け手が応ずるか断るかの意志表示をする前に、受け手にとって好ましい特典を付け足して、受け手が承諾するように仕向けるのである。

特典には景品や値引きがある。この特典付加法が効果の出る理由は二つある。一

碁

■出題者
七段 向井富治(金沢市・内科)
私の通信対局に現れました。白番です。手筋に明るい人なら一目でしょう。



(解答は7面にあります)

つは、店員がお客にサービスしたことに對する「返報性」である。もう一つは、この特典により、品物の値段が安く感じられるようになるからである。

「温泉に入つて香港へ行こう」
週日にお泊まりの方に限り、無料香港旅行の抽選券を差し上げます。(…温泉協会)

—メ切せまる!!—

とき **9月14日(日)～15日(月・祝)**
 ところ **スペイン村と伊勢神宮**
 参加費 **お一人様 49,000円**
 定員 **45人**

■お申し込み・お問い合わせは
石川県保険医協会 ☎076(222)5373
 までお電話で

多留先生の医事文化史跡めぐりは、本号はお休みします。

第2回 ドクターズ・ファミリーコンサート

出演者募集のご案内

昨年大好評だったドクターズ・ファミリー・コンサートを今年も開催します。ただ今、コンサートの出演者を募集しております。楽しいコンサートを企画しておりますので、お気軽にご応募下さい。

とき **1997年10月19日(日)**
 午後6時～
 ところ **読売ホール 1階ホール**
 (金沢市大手町5の30 ☎076-233-4570)

- 応募部門 ①邦楽(琴、尺八、小唄、謡曲など)
②洋楽(クラシック、ジャズ、シャンソンなど)
- 曲目 自由
- 演奏時間 10分以内
- 応募方法 官製ハガキまたはFAXにて応募部門、曲目、出演者氏名、連絡先を記入して保険医協会までお申し込み下さい。
無料(楽器などの搬入搬出などの費用はすべて出演者のご負担とさせていただきます)
詳細については保険医協会事務局または北山クリニック(☎076-263-2400)の北山先生までお問い合わせ下さい。
- 参加費用
- 問い合わせ

主催 **石川県保険医協会** / produced by Yoshiaki Kitayama